とちぎ夢大地応援団（１１月６日実施）

～那須烏山市　国見地区「棚田隣接山林の草刈り・交流会」～

国見地区は、那須烏山市街地の東南、八溝の山並みが連なり眼下に那珂川を見下ろす風光明媚なところです。**「北限のみかん」**として有名ですが、高齢化がすすみ現在９戸の世帯でみかん栽培や野菜種子の委託栽培、そして今回の活動目的である日本の棚田百選に認定された棚田の保全を行っています。

応援団活動は今年で6回目となりますが、毎年草刈りを実施しているため**「雑灌木類が少なくなり作業が容易で物足りない」**との意見が参加者から聞かれるほど活動の成果が実っています。

晴天の中、今回の参加者は総勢４９名となりました。NPO法人ナルク栃木をはじめ宇都宮大学、NPO法人都市近郊農業交流センター、一般応援団員の計 23 名と、隣接集落の小木須自治会、大木須むらづくり委員会そして市役所・地元の方々等で、大半が数年参加されている方々でした。

新調したハッピに注目

ガンバルぞー！

← 黄色に実った みかん

◎ 開会式

荻野目那須烏山市参事と小林国見自治会長から歓迎のあいさつ

原田宇都宮大学准教授が地域通貨の説明

◎ 草刈り

平成 11 年度に認定された棚田

作業は西側斜面の雑灌木刈り

急斜面も何のその　みるみる間にきれいに

大谷市長が激励に　　一緒にガンバロウ

◎ 昼食・交流会

美味しい「すいとん」をご馳走になりました。

◎ 交流会

「ナルク栃木」の
みなさん

３年目の都市近郊農業交流センターのみなさん

原田准教授と宇大生

参加者のみなさんは　来年も国見に来ることを楽しみにしていました。